

パソコンを通して市民の皆さんと触れ合える喜び

押田 圭史（座間市パソコンサポートクラブCグループ）

私たち座間市パソコンサポートクラブと座間市公民館との関わりは、11年前の平成16年2月に講座室で、創立総会を開催させていただいた時から始まりました。

当時座間市が「情報通信技術講習推進事業」の一環としてパソコンボランティア養成講座を開催し、その中から座間市パソコンサポートクラブが発足しました。

クラブは座間市民の皆さまが、等しくパソコンを使えるようになること、パソコンを楽しく生活に取り入れていただけるようお手伝いすることを目的に活動しています。

「本当に楽しかった。ありがとうございました」初めて担当した講座が終わったとき、受講された方たちから、こんな声をかけて頂いたことが今でも忘れられません。パソコン講座でこのような言葉がいただけたのは望外の喜びでした。

活動は座間市生涯学習課委託の座間市主催パソコン入門講座ですが、当時30余名のメンバーは一体となって工夫を凝らし、館職員の方たちからアドバイスをいただきながら、よりよい講座を模索しました。各種講座は楽しく真剣な雰囲気の中で行われ、述べ1,600余名の方たちが卒業されていきました。



またパソコン相談会では、講座で聞けなかったことや、忘れたことを勉強にいらっしゃる方々が、述べ2,400名を超え、それぞれスキルアップに取り組まれています。この活動は東地区文化センターや、北地区文化センターでも同様に行い、広く市民の皆様のお役に立つよう取り組んでいます。

私たちの活動は、大勢の市民の皆さんと一期一会で接することが多く、最初の対応次第ではパソコンライフの意欲がそがれる結果になりかねません。パソコン講座やパソコン相談会では、機材の整備、スムーズな進行、会場となる部屋の準備、冷暖房等々細かなことまで、いつも職員の方々が気を遣ってくださっています。ただ部屋をお借りしているだけではなく、職員の方々のサポートをいただきながら10年余の活動を続けてきました。

座間市公民館60周年を迎えるにあたり、お祝いを申し上げるとともに、地域社会の学習拠点としての役割を発揮されてきたことに感謝申し上げ、今後ますます発展されることを願っています。